

あいのりタクシー 実証実験について

第4回かごしまモビリティミーティング

令和5年11月15日(水)

錦江町役場総務課 松元

今日お話したいこと

1, 錦江町の現状

2, 導入の経緯

3, システムと運用の概要

4, 現状（実績）と課題

5, おわりに

1, 錦江町の現状

1, 錦江町の現状と課題（人と経済）

人口に占める生産年齢人口 42.4%

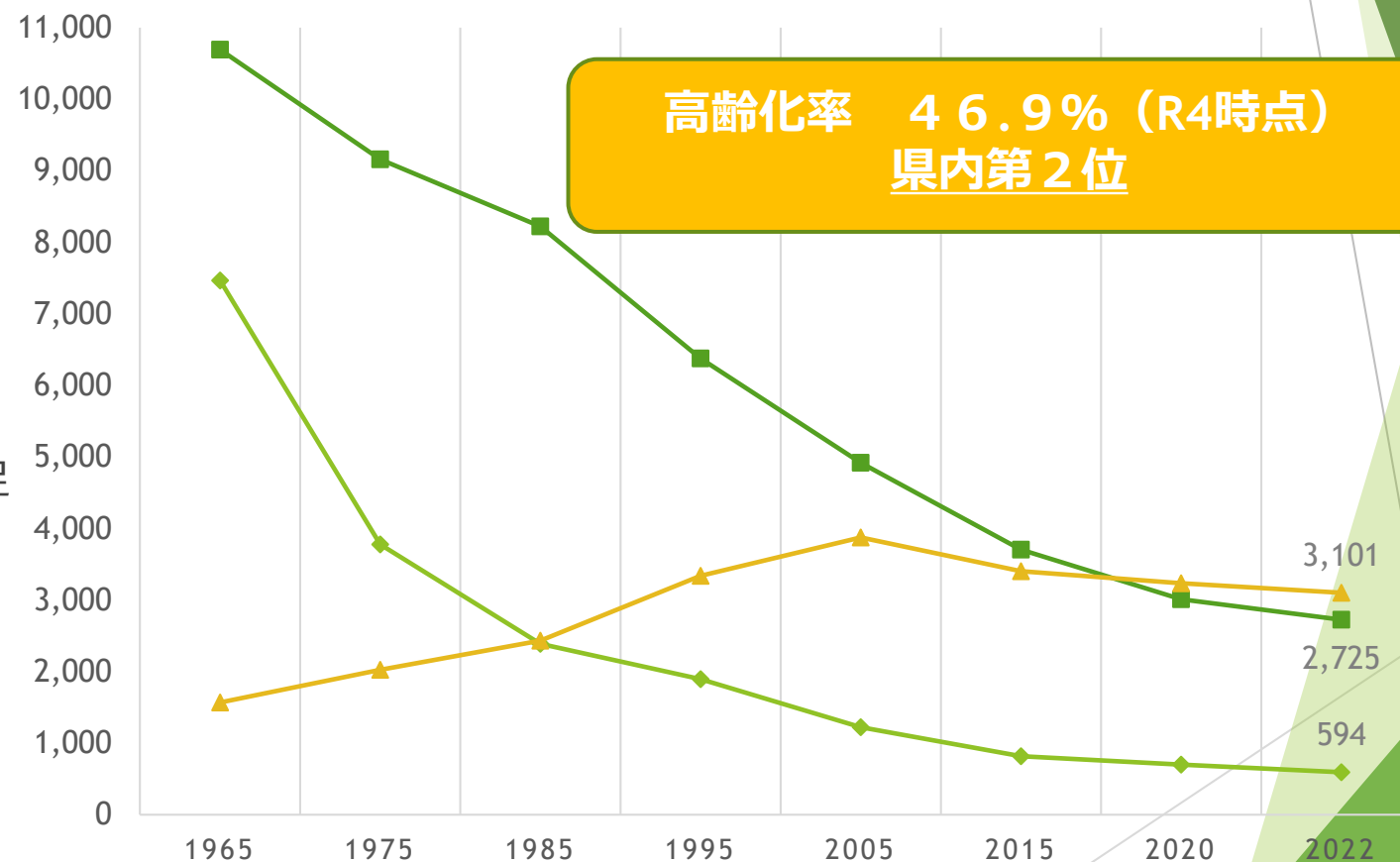
	令和元年	令和4年	動き	増減比率
人口	7,081人	6,421人	△660人	△9.3%
生産年齢人口	3,075人	2,725人	△350人	△11.4%
出生数	38人	29人	△9人	△23.7%
小学生	346人	281人	△65人	△4.6%
中学生	145人	163人	10人	18.8%
自然増減	△148人	△164人	△16人	△10.8%
社会増減	△69人	△139人	△70人	△101.4%
農業産出額	107.9億円	119.7億円	15.3億円	14.2%
町内総生産	228.3億円	253.1億円	21.6億円	9.5%
新規就農者	2人	3人	1人	
新規起業者	4件	2件	△2件	

1, 錦江町の現状と課題（人と社会）

人口（3区分）の推移

◆年少人口 ■生産年齢人口 ▲老年人口

高齢化率 46.9%（R4時点）
県内第2位



- ▶ 高齢化率の上昇
- ▶ 生産年齢層の減少
- ▶ 担い手の不足
 - 農家などの働き手不足
 - 地域の担い手 など

2, 導入の経緯

2, 導入に至った経緯

▶ 移動困難者への移動手段の確保

コロナ渦における高齢者等の移動手段の確保

(病院・買い物に行く際に交通手段がない人、バス停まで歩いて行けない人への支援)



移動手段のない高齢者や障がい者の移動手段の確保
(ドアtoドア)

2, 導入に至った経緯

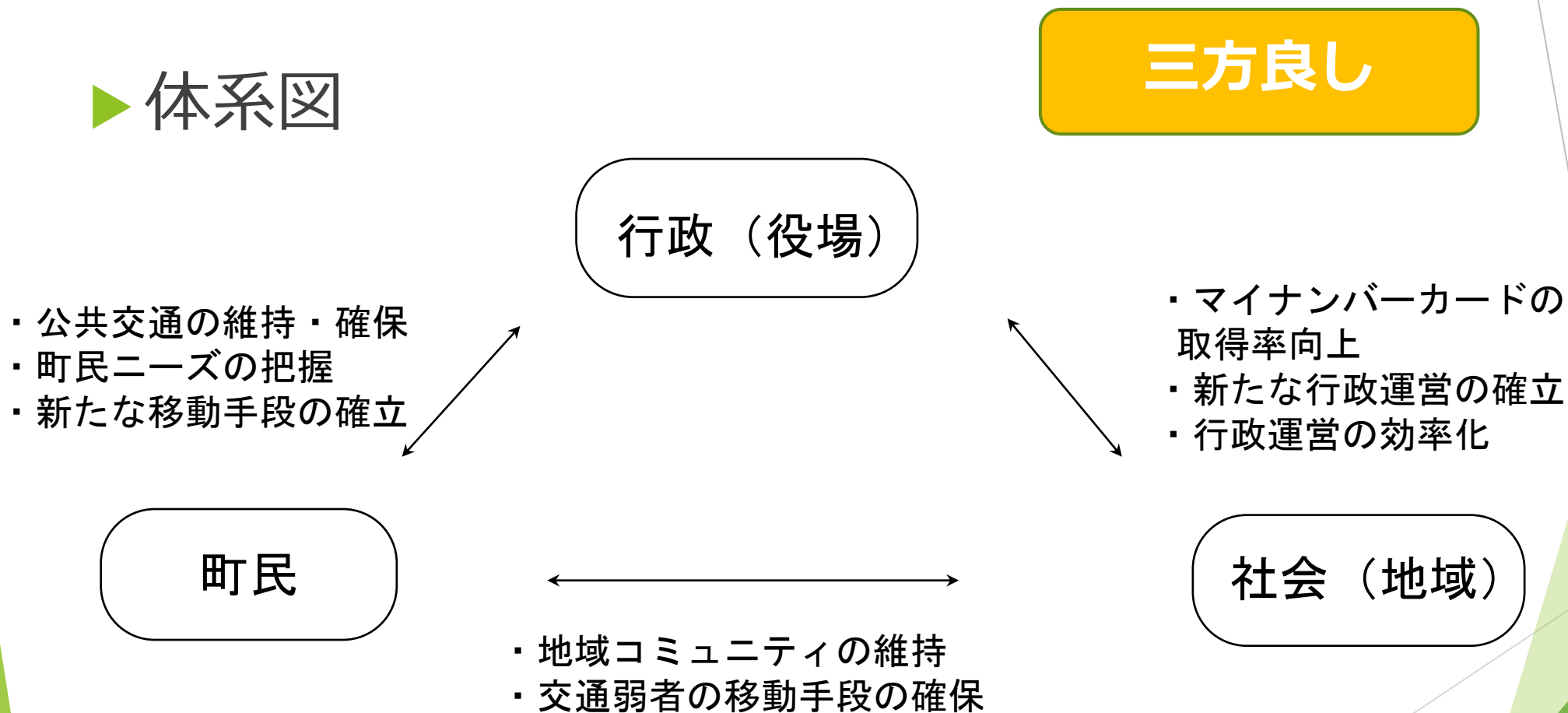
▶ マイナンバーカードの利活用

マイナンバーカードをあいのりタクシー実証実験へ導入することにより、利用者、タクシー事業者にとって効率的な運用の効率を図る。

(マイナンバーカードの使い道の拡大)

2, 導入に至った経緯

▶ 体系図



3 , システムと運用の概要

3, システムと運用の概要

【令和4年度あいのりタクシー実証実験】

▶ 実証期間

令和4年11月1日（火）～令和5年3月10日（金）

※利用登録は令和4年10月14日（金）から開始

▶ タクシー事業者

1社（みさきタクシー）

※タクシー台数約6台（錦江町の事業所のみ）

▶ 運用方法

マイナンバーカードのICチップ内の空き容量にデータを書き込むのではなく、サービスサーバ上で利用者情報などを管理する。（※車両内の端末にSIM搭載し、SIM経由でサービスサーバへアクセス）

▶ 運行形態

予約はいつでも可能、通常のタクシー利用と同様にご利用いただく（ドアtoドア）乗車または降車場所のいずれかが錦江町内であること。

※タクシー料金の支払いが複雑化してしまうため、降車場所が同じ場合に利用いただく。

▶ 助成額

12枚×500円＝6,000円付与 （タクシー事業所の障がい者割引などとも併用可能）

3, システムと運用の概要

【令和4年度あいのりタクシー実証実験】

▶ 対象者の条件

・助成を受けることのできる高齢者等は、本町に住所を有し、かつ、在宅で生活している者のうち、次のいずれかに該当する者。

① 満75歳以上の方（他条件に該当する者を除く。）

② 身体障害者手帳 1級の方

（ただし、視覚・下肢・体幹機能障害については2級以上の方）

③ 療育手帳の総合判定がA 1又はA 2の方

④ 障害者保健福祉手帳の障害等級が1級の方

⑤ ①～④に該当しない方で、運転免許証を自主返納し、申請による運転免許の取消通知書又は運転経歴証明書の交付を受けた方

3, システムと運用の概要

【令和5年度あいのりタクシー実証実験】

▶ 実証期間

令和5年7月3日(月)～令和5年12月31日(日)

※利用登録は令和5年4月3日(月)から開始

▶ タクシー事業者

2社 (みさきタクシー、さくらじまコアラタクシー)

※タクシー台数 みさきタクシー約9～10台 (鹿屋の事業所含む)
さくらじまコアラタクシー2台

▶ 運用方法

マイナンバーカードのICチップ内の空き容量にデータを書き込むのではなく、サービスサーバ上で利用者情報などを管理する。(※車両内の端末にSIM搭載し、SIM経由でサービスサーバへアクセス)

▶ 運行形態

予約はいつでも可能、通常のタクシー利用と同様にご利用いただく (ドアtoドア) 乗車または降車場所のいずれかが錦江町内であること。

※タクシー料金の支払いが複雑化してしまうため、降車場所が同じ場合に利用いただく。

▶ 助成額

12枚×700円 = 8,4000円付与 (タクシー事業所の障がい者割引などとも併用可能)

3, システムと運用の概要

【令和5年度あいのりタクシー実証実験】

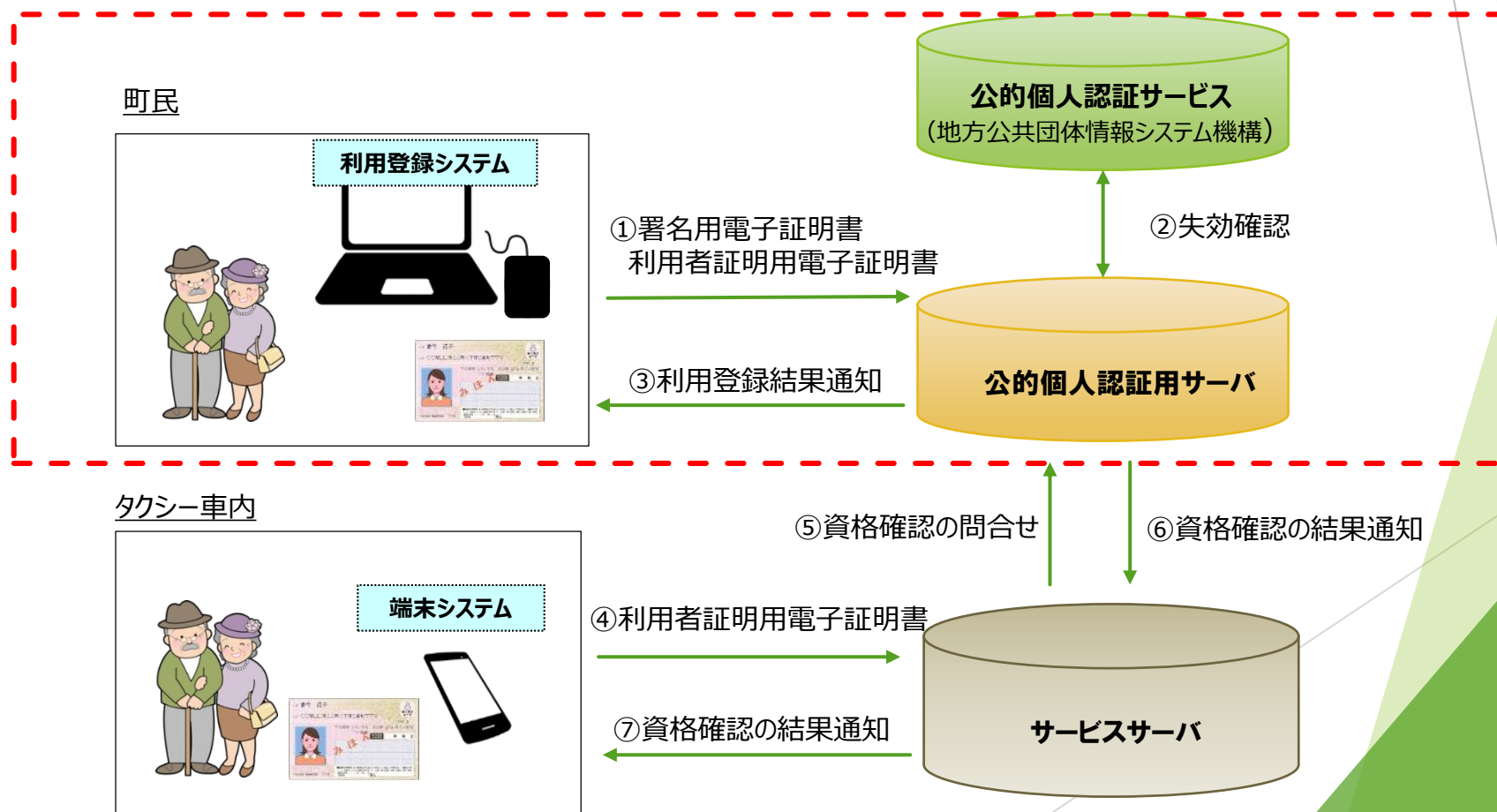
▶ 対象者の条件

・助成を受けることのできる高齢者等は、本町に住所を有し、かつ、在宅で生活している者のうち、次のいずれかに該当する者。

- ① 満70歳以上の方（他条件に該当する者を除く。）
- ② 身体障害者手帳 1級の方
（ただし、視覚・下肢・体幹機能障害については2級以上の方）
- ③ 療育手帳の総合判定がA 1又はA 2の方
- ④ 障害者保健福祉手帳の障害等級が1級の方
- ⑤ 要介護度が要支援1～要介護5の方（年齢制限40～69歳/第2号被保険者を含む）
- ⑥ 難病指定を受けられている方
- ⑦ 妊産婦・未就学児（助成額 12枚×3,000円）
- ⑧ 免許を所持していない方（外国人・免許返納者を含む）

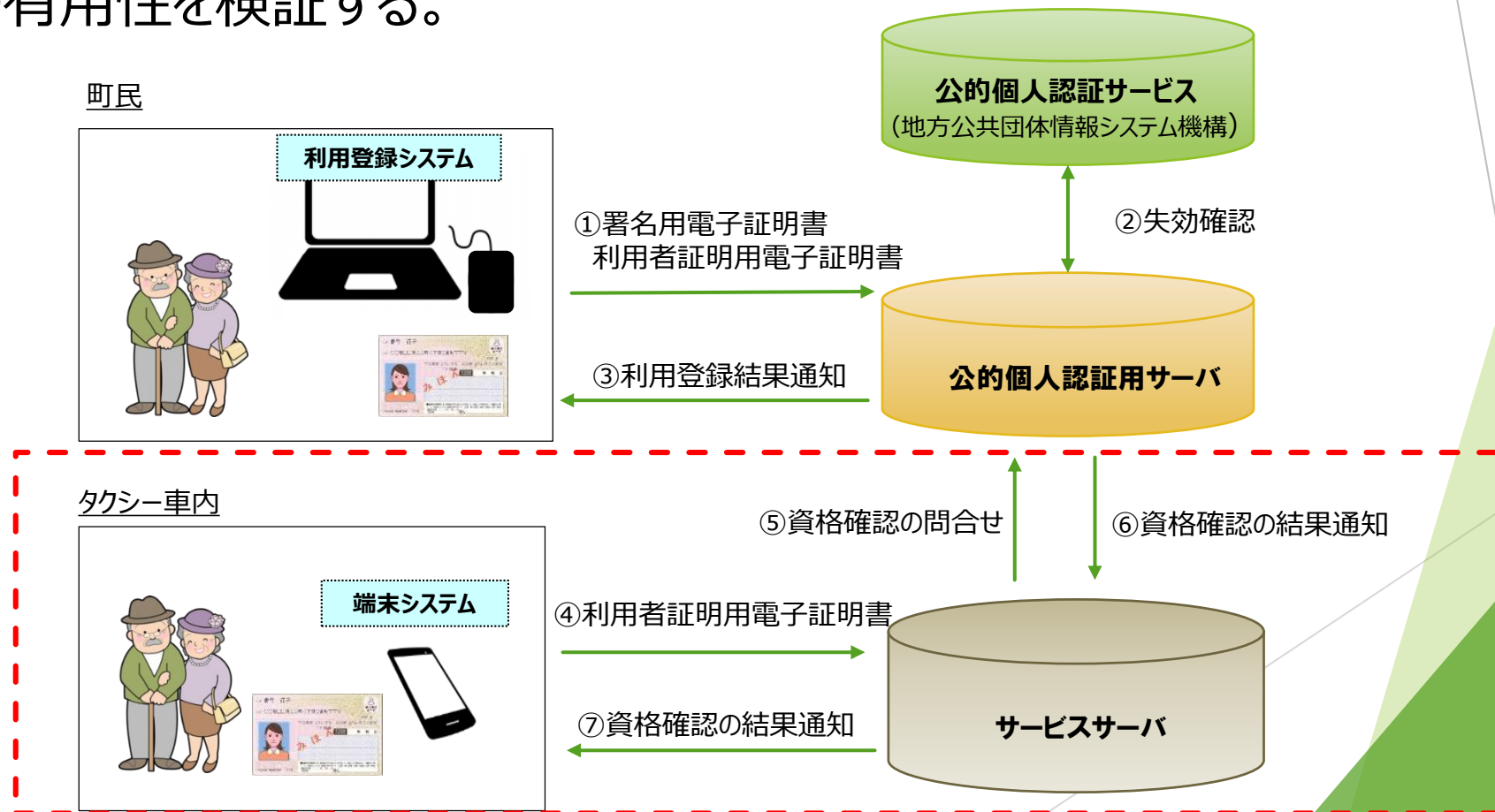
3, システムと運用の概要

実証実験参加者は、役場へ来庁し、マイナンバーカードの電子証明書(署名用電子証明書or利用者証明用電子証明書)を用いて、電子的な本人確認の元、利用者登録を行う。

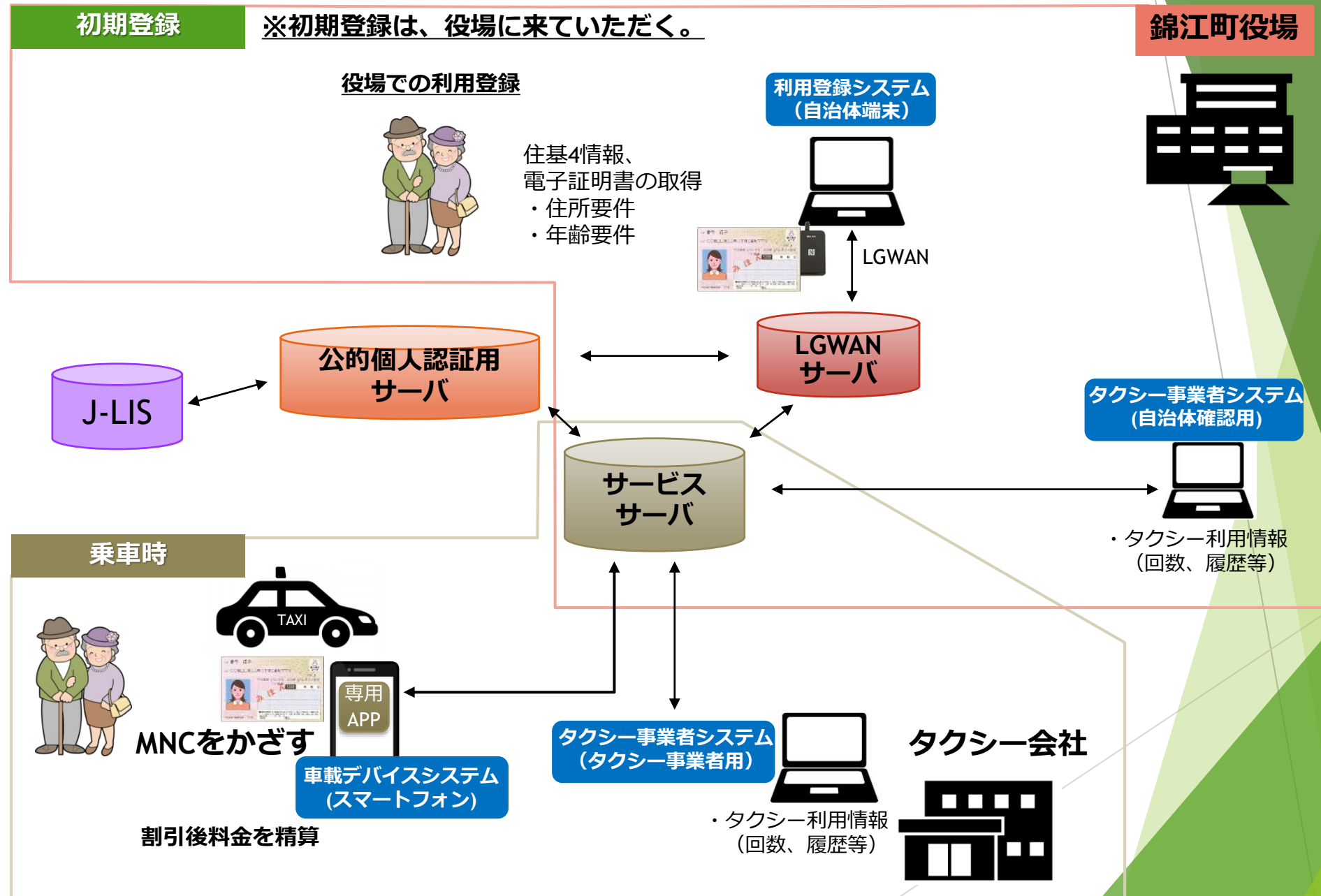


3, システムと運用の概要

その後、タクシー乗車時にマイナンバーカードをスマートフォン端末にかざすことで、電子証明書を用いた資格確認を行いつつ、利用回数の減算を行う。資格を有する方は、本実証実験においては、運賃を700円割引とし、マイナンバーカードの有用性を検証する。



3, システムと運用の概要(システム全体)



4, 現状（実績）と課題

4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

▶ 利用登録者数

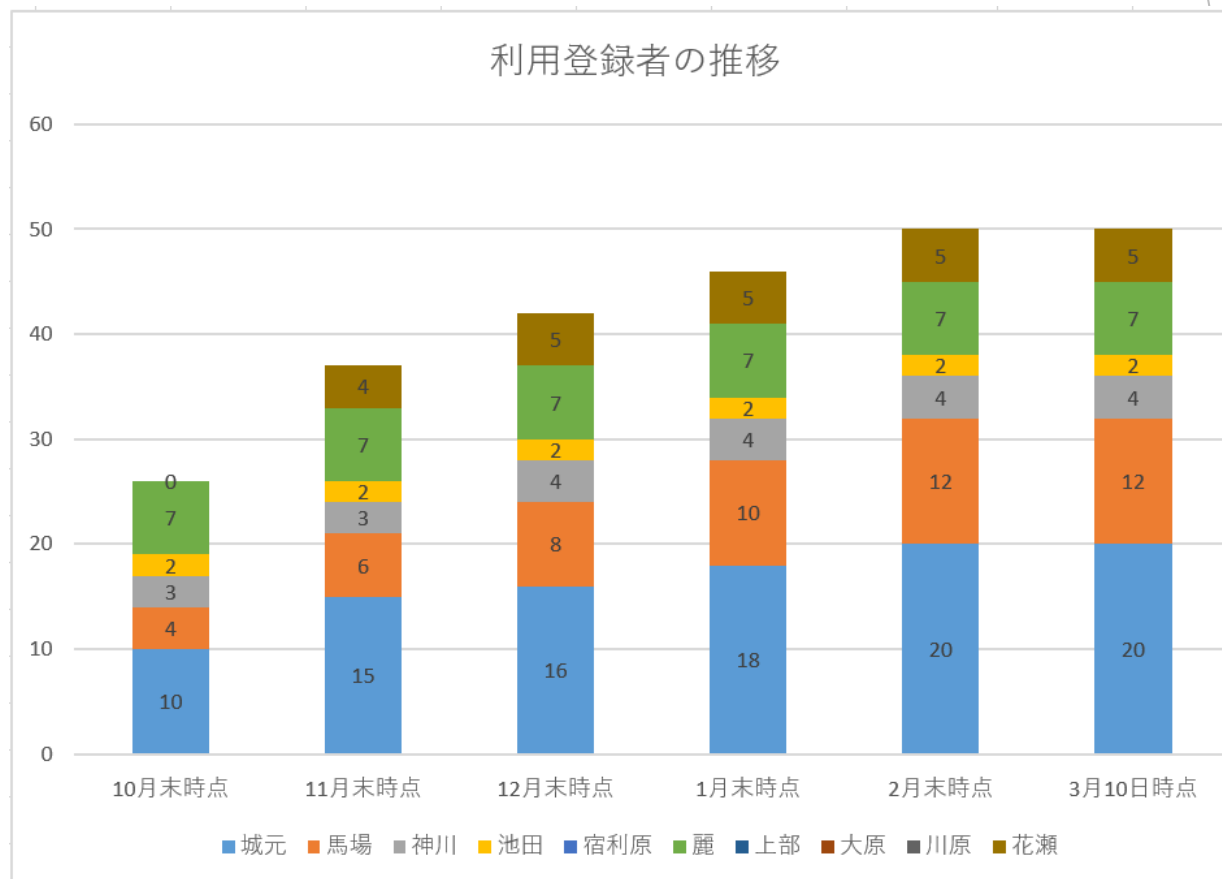
・ **50名**

（男性12名、女性38名）

▶ 毎月の利用回数

- ・ 11月 24回
- ・ 12月 42回
- ・ 1月 41回
- ・ 2月 26回
- ・ 3月 16回

計149回



4, 現状（実績）と課題

市街地から離れた地域の方
の登録が増えた！

【令和5年度実証実験の状況】

▶ 利用登録者数

・ **57名**

昨年度と併せて107名

(男性23名、女性84名)

▶ 毎月の利用回数

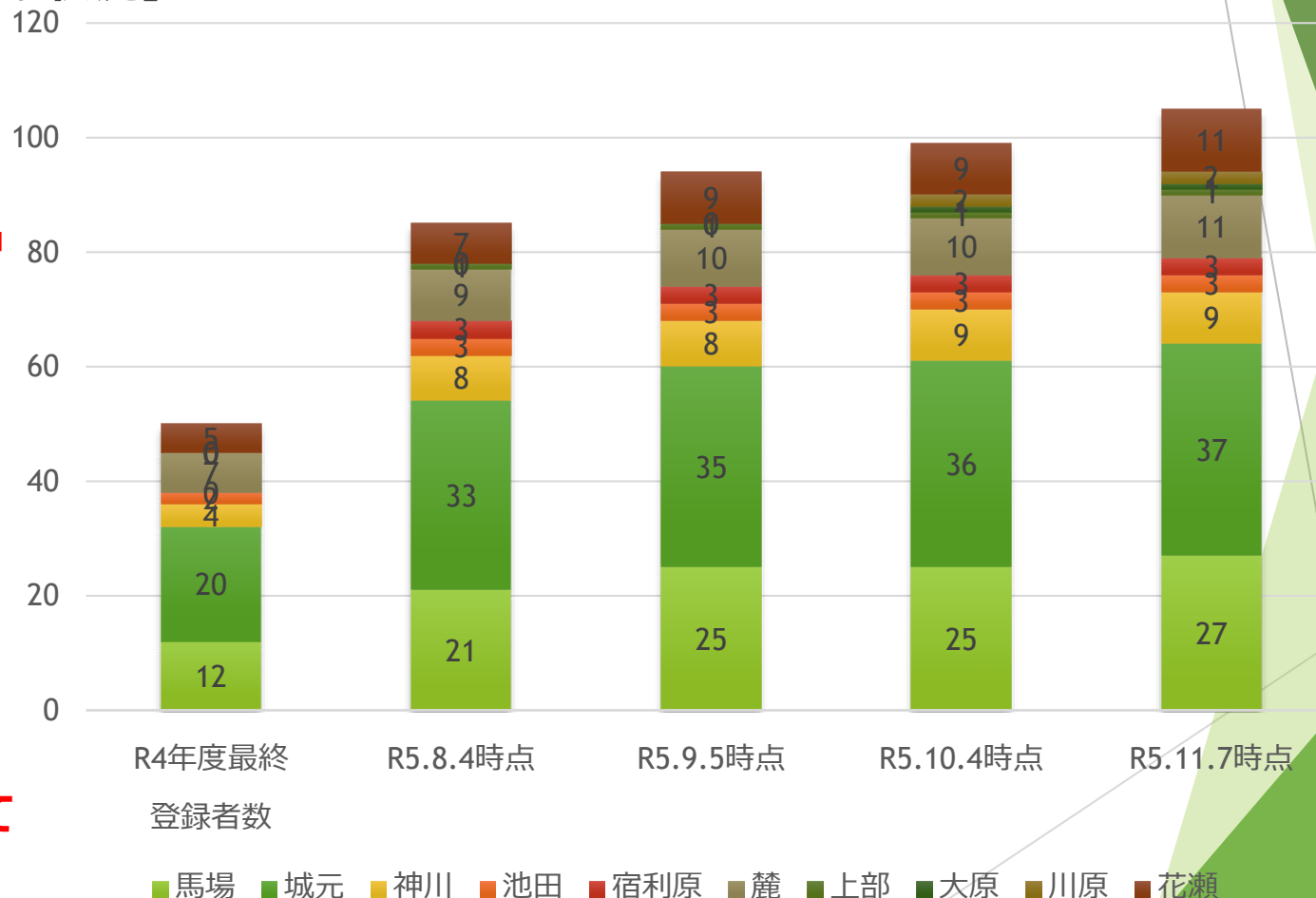
・ 7月 49回

・ 8月 73回

・ 9月 77回

・ 10月 77回

**利用登録者数と比例して
昨年度の2倍**



4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

【乗降車位置】

- ▶ スーパーや病院も他地域より集まっている錦江町役場本庁周辺の市街地での利用が多いという結果が出た。
- ▶ この周辺の地域の方の登録が多いため、利用が集中していることも考えられるが、田代地域や町内各地を結ぶコミュニティバスを利用していることも推測される。



4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

【乗降車位置】

- ▶ スーパーや病院も他地域より集まっている錦江町役場本庁周辺の市街地での利用が多いという結果が出た。
- ▶ この周辺の地域の方の登録が多いため、利用が集中していることも考えられるが、田代地域や町内各地を結ぶコミュニティバスを利用していることも推測される。

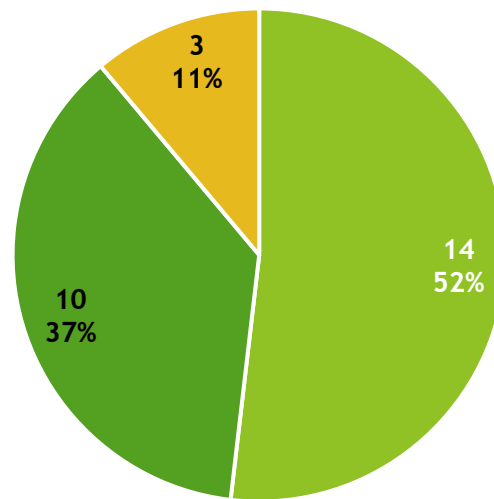


4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

【アンケート結果】

- ▶ 「あいのりタクシー実証実験」を使っていますか。



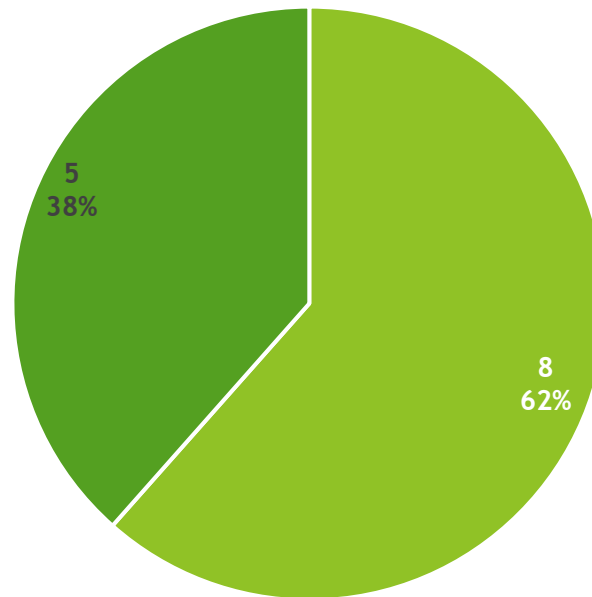
■ a 使っている ■ b 知っているが、使っていない ■ c 知らない

4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

【アンケート結果】

▶ 使っている方は、便利だと思いますか



■ a 便利 ■ b 使いにくい

4, 現状（実績）と課題

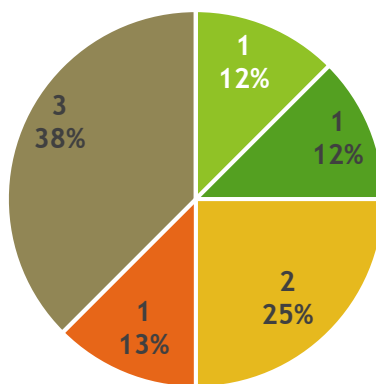
【令和4年度実証実験の結果】

【アンケート結果】

▶ 使いにくい、使っていないと答えた方は、理由を教えてください。

使いにくいと答えた方は、理由を教えてください。

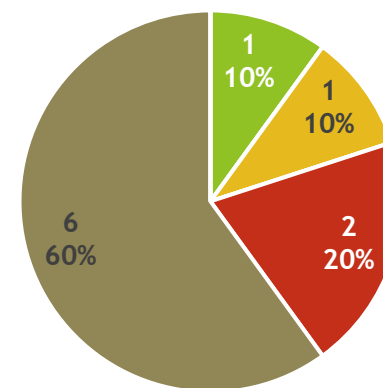
(対象者)(複数回答)



- a 割引の500円は安い
- b 地域が遠くタクシー料金が高いため
- c マイナンバーカードを使いたくない
- d 登録が面倒だ
- e 家族や近所、サロンの方の送迎がある
- f 紙の福祉タクシー券がいい
- g 役場に行きたくない
- h タクシーの割引はいらない

使っていない理由

(対象者)



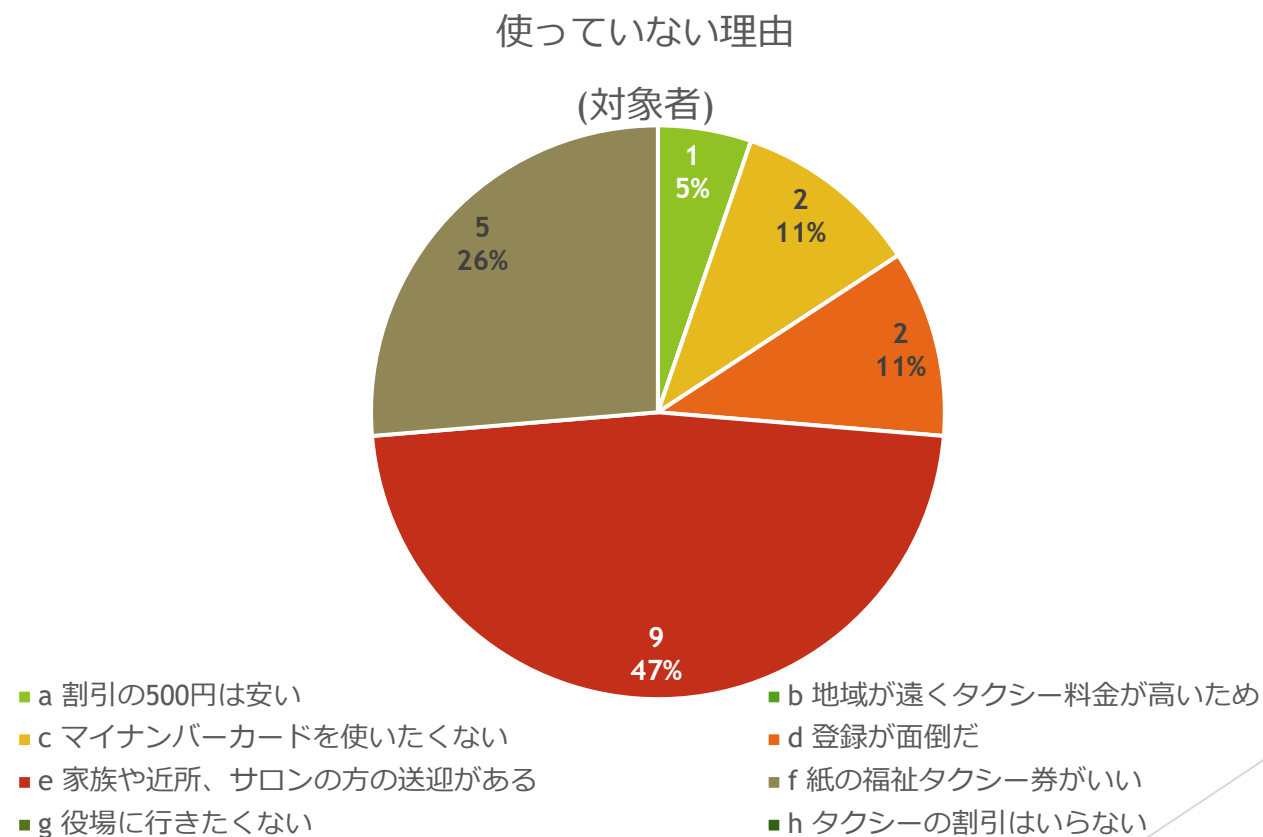
- a 割引の500円は安い
- b 地域が遠くタクシー料金が高いため
- c マイナンバーカードを使いたくない
- d 登録が面倒だ
- e 家族や近所、サロンの方の送迎がある
- f 紙の福祉タクシー券がいい
- g 役場に行きたくない
- h タクシーの割引はいらない

4, 現状（実績）と課題

【令和4年度実証実験の結果】

【アンケート結果】 **※利用登録をされていない方**

▶ 使いにくい、使っていないと答えた方は、理由を教えてください。



4、現状（実績）と課題

【課題】

- ▶ 市街地から離れた地域に住んでいる方などの利便性の向上
⇒居住地などに関わらずサービスが必要な方々が使いやすくなるよう、実証実験の結果だけでなく住民さんの声を聴き、実施しながら運用方法や仕組みを検討していく。
- ▶ マイナンバーカードやデジタル化への抵抗感
⇒マイナンバーカードの情報紐づけの誤りやカードへの信頼度から、マイナンバーカード自体を利用することやデジタル化することへの不安や抵抗感がある。
しばらくは紙との併用を続けながら状況を見て、デジタル化による生活の利便性向上に向けた検討は続けていく必要がある。
- ▶ システム管理であるため、ネット環境に左右される
⇒スマートフォンは搭載しているSIMを経由して、サービスサーバにアクセスし、資格確認と利用回数の減算をしているため、山間部など通信状況が不安定な場所における利用時は紙の利用券に記載し、後からシステムに入力することで対応している。

5, おわりに

ご清聴ありがとうございました

